

# 学校だより 安佐北

修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656-0600 FAX 082-818-5140  
web http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp

平成24年度  
第6号  
12月3日  
(師走)  
(DECEMBER)

## 『子曰、知者不惑、仁者不憂、勇者不懼。』 (論語)

子曰わく、知者は惑わず、仁者は憂えず、勇者は懼(おそ)れず。

孔子がおっしゃいました、「知者は(正しい知識を備えているので)判断に迷う事はない。仁者は(正しい行いを心がけているので)悩む事はない。勇者は(正しい時にのみ力を用いるので)恐れる事はない。」



## ◎ 平成24年度「基礎・基本」定着状況調査

6月12日(火)に、公立中学校2年生を対象として、広島県内一斉に「基礎・基本」定着状況調査が行われました。内容は、国語・数学・英語の3教科と、生活と学習に関する意識・実態の調査です。このほど、その調査結果が発表されましたので、国語・数学・英語の3教科について報告します。

### 国語 【分析】

小学校で履修する漢字の読み書きの力の定着状況は、本校生徒はほぼ100%に近い通過率を示しています。入学以来、漢字小テストを毎週実施し、漢字練習を自主的に日々継続する習慣をつけさせていることの成果の現れと思えます。たくさんの漢字を知り、使える言葉を増やすことは、国語の学習だけでなく他の教科の理解力アップや日常生活で、他者とやりとりをする際の基本的な力になるものです。

また、「読むこと」の領域において、登場人物の心情を把握したり、文脈の流れをつかんで内容を理解する発問での通過率が高い結果を出しています。本校は読書に親しむ習慣のある生徒が多く、登場人物の心理等を想像しながら文学的文章を読むことを日頃から楽しんでいることがよい結果につながっていると思われます。

### 数学 【分析】

「数と式」の領域はの通過率が95.2%で、基本的な計算の能力は身につけてきていると思われれます。正負の数の利用でやや通過率がやや低いが、これは誤答から判断すると加法と乗法の問題文の読み間違いが原因と思われれます。

「図形」領域の通過率は93.9%で、回転体に関する問題で、他の問題と比べるとやや通過率の低い問題も見られました。実物を使って、立体的な見方を養っていかなければならないと思われれます。

「関数」領域の通過率は92.1%で、基礎基本は理解できていると考えられます。ただ、比例より反比例での理解が難しい傾向があるので、問題演習を繰り返しながら、定着に力を注いでいきたいと思います。

「資料の活用」領域の通過率は93.0%で、昨年

## 平成24年度「基礎・基本」定着状況調査

	国語	数学	英語	3教科合計
広島県	81.0	74.1	74.2	229.3
広島市	78.5	71.9	72.2	222.6
安佐北中学校	91.1	94.2	94.2	279.2

度の課題であった相対度数についても理解ができていたようです。

### 英語 【分析】

「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」のすべての領域において90%以上の通過率でした。広島県の平均通過率と比較しても「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」の3領域では20%以上、広島県の平均通過率が高い「話すこと」の領域についても10%以上の高い通過率でした。特に「読むこと」の領域は、平均通過率が100%でした。その中でも「内容を考えた音読」の問題では、100%の正答でした。また「聞くこと」の領域の「英語での問いかけに対する適切な応答」の問題でも、平均通過率が100%でした。

授業の中で、イントネーション、抑揚、強弱などを徹底的に意識させての本文の音読、本文の概要を考えながら本文を全文暗誦する取り組みを入学時より重視し継続的に行っていることが、「内容を考えた音読」の正答率100%に、また、本文の単元ごとに、個別に英問英答の点検活動を行うことにより、「英語での問いかけに対する適切な応答」の正答率100%に繋がっていると思われれます。これら取り組みによる成果が身につけてきているように感じます。

一方、「読むこと」の領域の「適切な語を用いた会話文の組立」では、他と比較すると低い通過率でした。疑問文において主語を見きわめ、瞬時に動詞を正しく運用する力が若干身につけていないと考えられます。

## ◎ 第1学年 野外活動

平成24年10月30日から11月1日、二泊三日の日程で江田島にある国立江田島青少年交流の家で野外活動を行いました。

『行動のメリハリをつける』という野外活動学年目標のもと、一日目、広島駅からバスで移動。二時間あまりで青少年交流の家に着。この日の主な行事は野外炊事でした。二日目、6時40分起床、9時から体育館にて人間関係づくり研修、午後はカッター研修、更に夜にはキャンプファイヤー、行事が目白押しの日でした。三日目、退所準備、清掃の後オリエンテーリング研修を行い、13時退所式、15時広島に帰ってきました。



## ◎ 性教育講演会 11月8日(木)

性に関する正しい知識を習得するとともに、今の自分やこれからの自分をみつめ、自他の人格や生命を尊重し、相手を思いやる心を育てることを目的として性教育講演会を4・5・6年生を対象に行いました。現場で働く助産師の方のお話を聴いて生命の連続性、出産の感動、神秘さ、命の重さについて学びました。

講師には、助産師である中岡 祐子 先生をお招きし、「生きるための性～いのちの授業～」と題して講演をしていただきました。



## ◎ 青少年意見発表会

11月10日(土)、安佐北区総合福祉センターにおいて、第22回可部地区青少年意見発表会がありました。本大会で廣田萌さん(2年)が「作法と思いやり」、久保祐貴君(5年)が「道路交通マナー」について発表しました。

## ◎ 文部科学大臣賞受賞

第65回広島県児童生徒書道展において、末永歩生さん(4年)が大賞にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。

作品は広島県立美術館で12月11日(火)から16日(日)の間、展示してあります。また、この受賞により、日中友好書道交流団員として、書の故郷である中国を訪問し、書道交流会に参加する中国旅行に招待されています。訪中は3月下旬で、中国安徽省を訪問予定です。

## ◎ 3年PTC 11月17日(土)

今年の3年PTCは、職場体験の報告会、昼食会を行いました。9時から安佐北中学校食堂を使い、昼食会用のハヤシライスとデザートをつくりました。その後、10月4・5日に実施した職場体験の報告会を行い、報告会終了後、みんなで楽しく食事会をしました。(了)

